



いわゆる生野義拳は、天誅組の行動を大和義拳と称するので相対的にそう呼ばれたものである。

文久三年十月、河上弥市らは、但馬生野代官所を襲撃し、農兵を集めて討幕の尖兵としようとした。

だが、その無謀な拳兵は農民たちの反撥を招き、逆襲されて、撃殺されたり自刃したりして、潰滅したのである。(中略)

但馬の生野町は、銀山で栄えた町である。山師と呼ばれる旦那衆が町を支配しているが、かれらも朝倉支庁長を立てているのは、銀山があつての町だからである。(中略)

鉱山の入口に立派な門柱が立っている。菊の紋章が雨に濡れて光っていた。

『志士の肖像』東京新聞出版局

但馬文学舞台散歩

8

幕末から明治維新を支えた 陰の立役者の生き様

〈小説〉志士の肖像 早乙女 貢 著

坂本龍馬・高杉晋作・桂小五郎・西郷隆盛・大久保利通・伊藤博文…幕末から明治にかけての激動の時代を彩った誰もが知っている人物群。彼らの名前が次々に出てくる『志士の肖像』は、この時代を生きたひとりの男・山田顕義こと市之允の生き様を追った小説である。先に並べたそうそうたる人物たちの陰に隠れ、ほとんど名前を知る人はいないが、明治新政府では日本国憲法制定に力をつくし、司法大臣として活躍した人物である。

山田顕義は生野銀山の坑道の中で倒れ、帰らぬ人となった。坑道から吹き上げた風にすべてを背向けたとき、不意に目が眩んだ。

奥深く君は隠れぬ いまさらにな 生野の山の 名をうらむかな

彼の死の知らせが日本列島を駆けめぐったとき、日本新聞に投書された歌である。まだ、時代は彼を必要としていた。早すぎる死であった。

彼はなぜ生野銀山を訪ねたのであるか。実は彼の本当の目的は墓参りにあった。彼のいとこであり、親

友であった河上弥市こと南八郎は生野義拳で切腹し、若い命を散らした。生野義拳——。時代の大きなうねりの中に巻き込まれ、若い命がたくさん失われた。しかし、若者が真剣に政治を考え、日本を考えていた時代である。

河上弥市は当時二十一歳、山田は二十歳。「市」と呼ぶと、山田も、「市」と呼び返した。兄弟のような間柄でありながら、動乱の時も明治の世になっても一度もこの地を訪れていなかったのである。そのことが、長い間気にかかっていた。ほとんど30年に近い歳月が経っていた。河上弥市ら17名の名を刻んだ自然石の碑が立っている。菊の花を供え、冥福を祈り、長い間の望みがやつとかなえられたのである。

彼が急死したのは翌日であった。まるで、弥市と呼ばれたように天へ召されていく。混迷の世にあって、最後まで武士の心を失わず、陰の立役者として生きた貴重な人物は、生野の地にて静かに息を引き取ったのである。

IZUSHI GRAND HOTEL

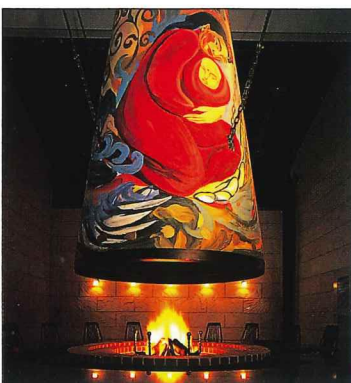


●ご予約・お問い合わせは

出石グランドホテル
〒668-02 兵庫県出石郡出石町福住450番地
Phone 0796-53-1111 (代)

ホテルでオシャレな結婚式を挙げませんか。

幸せの門出を温かく見守っていただく、華やかなステージを演出するホテルの結婚式。あふれるお慶びと希望が映える式場『福住殿』。また、暖炉前で厳かにおこなわれる教会式ハースウェディング(hearth=暖炉、団らん、愛の象徴)も素敵です。洗練された感覚と城下町出石の落ち着いた雰囲気兼備、皆さまをお待ちしております。



美しい紫の花が咲く ミズアオイ

近畿で確認されたのは出石町だけ
町をあげての保護が進む

ミズアオイ



昨年夏、出石町の小中学生たちが絶滅が心配されている水生植物「ミズアオイ」約百株を出石町谷山川に植えた記事が新聞に載り、話題となりました。まだ、記憶に新しいところです。

近畿で、ここ数年の内に確認されている「ミズアオイ」は、出石町だけ

というとても貴重な植物なのです。昔は湿地帯のどこにでもたくさん

あつたようですが、最近、西日本ではほとんど見られなくなってしまいました。その理由としては、河川や水路の改修、除草剤の使用などがあげられ、また競争に弱く、他の草に負けてしまうからではないかと言われています。「ミズアオイ」はミズアオイ科の一年草。茎は高さ30〜70センチで、9月ごろ、美しい紫色の花を咲かせます。

出石町では谷山川の河川工事に伴い、水生植物を保護するために湿地ゾーンを数カ所に設けています。そのうちの1カ所を利用して、絶滅の危機に瀕している「ミズアオイ」を植えたのです。場所は出石中学校横の谷山川沿い。橋より少し上流です。今年はずいぶん紫色の花を見ることができそうです。



群をなして咲くミズアオイ



出石町谷山川に設けられた水生植物の湿地ゾーン

水草で、柔らかい葉を食用にしたという話も残っています。私たちにとって身近な植物であったことがわか

万葉の時代から人々に親しまれた水草で、柔らかい葉を食用にしたという話も残っています。私たちにとって身近な植物であったことがわか

協力：兵庫県生物学会伯馬支部

法面

但馬空港アクセス道路

“グリーンブレス” 緑と文化を咲かせよう

今、世界で環境問題について叫ばれる中、緑を扱う専門家として私たちの仕事の重要性、責任の重さを痛感しながら、これからも新しい景観を創造してまいります。

造園・法面・土木・設計施工管理

株式会社 西村晃園

本社：兵庫県豊岡市山王町11-5 TEL 0796-23-5616
 本部：兵庫県豊岡市九日市上町846-1 TEL 0796-23-5611

八鹿町(舞狂)八鹿土木事務所